

令和7年度第1回岡山市経済政策審議会における主要な意見

1 日 時 令和7年11月13日（木曜日）午後2時～午後4時

2 場 所 岡山市役所議会棟3階 第1会議室

3 出席者 委員10名

4 傍聴者 報道0名、傍聴者0名

5 議 題

- (1) 産業振興アクションプラン素案について
- (2) 観光・MICEアクションプラン素案について
- (3) 農林水産振興アクションプラン素案について

6 主要な意見

(1) 産業振興アクションプラン素案について

- ・企業立地の場所が少ないという点について、市独自の制度を実施するなど取組は評価できるので、今後効果が出せるように対応をお願いしたい。
- ・企業誘致は、大きな企業をどんと呼び込むよりは、大きくなくとも優秀な企業がたくさんある方が、バランスが取れてよい。特に、岡山市ならではの特異性のあるブランド的な企業がよい。市単独では難しいと思うので、産官学金言も含め横断的な連携がもっと必要ではないか。
- ・スタートアップ支援拠点「ももスタ」は、スタートアップ数の実績も上がっており、実際に足を運んでみたが盛況な様子。一方、一部の製造業などの地元企業からは、招待を受けても、なかなか参加しづらいといった声も聞いている。地元企業とスタートアップの交流から新しいものが生まれてくることも考えられるので、「ももスタ」の事業等の更なる周知に努めていただきたい。
- ・計画はPDCAのCの部分、「検証」をしっかりとすることで、計画が進むので局全体で共通言語・認識をもって、一体感が見えるような施策を検討していただきたい。

(2) 観光・MICEアクションプラン素案について

- ・コンベンション誘致について、2000人規模など全国的、大規模な会議等に対応可能な施設が不足している。強化すれば様々な会議が誘致できる。
- ・コンベンションの誘致にしても、宿泊施設の整備や、岡山駅周辺のコンベンション施設・懇親会場・ホテルなど、一体的に拡充するなど利便性を高めると多くの誘致

ができる。

- ・「ストーリーとネーミング」を使い、岡山の魅力を分かりやすく、かつたくさん作り出す。この魅力づくりと受入のキャパといったことが滞在型の観光に繋がり外貨を稼ぐことができる。
- ・計画の中で岡山城自体と、後樂園との連携の話の位置づけが大きいですが、岡山城・後樂園の周辺に何も無い。岡山城の正面入り口は特にさびしい。空港にしても飛行機が離着陸する場所があるだけ。場所だけでは、「魅力がある」とはならない。人を呼ぶには、まちづくりと体験(飲食と見ることプラスお土産を買うなど)がセット。
- ・岡山空港については、県の所管だが、お客様が岡山に入ってくるツールという意味で、魅力ある空港になるよう整備にも目を向けていただきたいのと同時に、市内に留まっていただいてもらえるような宿泊施設を整備しないと通過型になってしまうと危惧している。
- ・ベース宿泊地としてこれから開発していくなら、整備できるまでの策として、通過型の自治体として困っている自治体同士連携して自分たちの魅力をブラッシュアップしていくなどの取り組みをしては。
- ・交通の利便性を活かして大都市圏から来てもらえるように、朝から夜までしっかり遊べる仕組みづくりを進めてはどうか。
- ・アクションプランの内容、表現方法について。
 - 「三大都市圏とそれ以外の地方部」があるが、三大都市圏以外の地方部といっても、北海道や長野もあり、地方の中にも差がある状況だと思う。
 - 「ターゲットを絞ったインバウンド推進」について、誘致対象の国を絞るのではなく、インバウンドの推進はあらゆる国を広く推進し、プロモーション内容をターゲットを絞って合わせていくという考え方で検討しては。
- ・観光ボランティアの育成・支援についてバックアップは十分か。

(3) 農林水産振興アクションプラン素案について

- ・農林水産業の一番の課題は若者の就業率だと思うが、法人化やスタートアップ等で収入面が改善すれば魅力。移住も増えたり新しい戦略に繋がるのでは。
- ・年間安定した量を安定した金額で出荷できるというようなことに行政が力を注げば、従事する人間も増えて魅力が出てくると思うが、そういった支援策の検討を。
- ・時間をかけて条件が良い農地を集積、集約し、日本でもトップクラスの大規模農家になって、効率が良い農業ができていいる若手もいる中で、地域未来投資促進法の活用により、農地転用しやすくなった地区では、将来の投資を期待して、地主さんが

耕作者に農地の返還を依頼してくることが出てきており、効率的な作業ができなくなる事態も起きている。工業用地や他産業の用地への農地転用の際には、よく考えていただきたい。

- ・地域未来投資促進法の制度改正などの際には、農業者として地主だけでなく、農地の利用者である耕作者の意見もしっかり聞いていただきたい。
- ・岡山がノリの大産地という話、今まであまり聞いたことがなかったが、PRの工夫が必要ではないか。玉野にもノリが盛んな地区があって、おいしい。若い方で発信を頑張っている方もいるので、そういう所に支援するなど繋がってネットワーク化されると底上げにもなるのでは。体験型としてノリのでき方・作り方とかスタンプラリーなどを企画すれば、観光にもつながると思う。
- ・「ブランド力の強化」に関しては、岡山の果物、白桃やマスカットは岡山が一番だと思っていたら、全国的に言われているのは、ももは福島、ブドウは山梨みたいになっている。残念な感じがするので、もっと強化していただきたい。

(1) ~ (3) 全体について

「岡山の魅力をもっと知ってもらわないと勿体ない。」という共通認識の基でやっていくことで、付加価値のある素晴らしいアイデアが生まれるのではないかな。